

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月07日

計画の名称	熊本市公共下水道事業（防災・安全）【第3期】（重点計画）													
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	熊本市													
計画の目標	公共下水道の着実な整備を行い、熊本市総合計画に掲げられた「安全で利便性が高い都市基盤の充実」の実現に寄与する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,741	A	1,712	B	0	C	29	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	1.66	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	R1	R5
1	熊本市下水道総合地震対策計画で定めたマンホールトイレの整備率を38%（H29）から100%(R5)に増加させる。			
	マンホールトイレの整備率	38%	79%	100%
	計画期間内整備済基数 / 計画期間内整備予定基数			
2	熊本市下水道総合地震対策計画で定めた処理場・ポンプ場施設の耐震対策実施率を26.0%から（H29）から35.0%(R5)に増加させる。			
	施設の耐震対策実施率	26%	29%	35%
	耐震対策実施済施設（箇所） / 下水道総施設数（箇所）			
3	下水道による都市浸水対策達成率を51.9%(H29)から54.5%(R5)に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	52%	53%	55%
	浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	終末処 理場	改築	中部浄化センター 地震 対策	耐震化	熊本市	■	■	■	■	■	45		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	終末処 理場	改築	東部浄化センター 地震 対策	耐震化	熊本市		■	■	■	■	50		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	管渠（ 雨水）	新設	加勢川第5排水区 幹線整 備	雨水管 φ2000mm L=600m	熊本市	■	■	■	■	■	115		-
	A07-004	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	管渠（ 雨水）	新設	鷺川第2排水区 幹線整備	雨水管 φ1600mm L=660m	熊本市	■	■	■	■	■	500		-
	A07-005	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	終末処 理場	改築	南部浄化センター 地震 対策	耐震化	熊本市		■	■	■	■	38		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
	A07-006	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	ポンプ 場	改築	平田ポンプ場 地震対策	耐震化	熊本市		■				51		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	-	新設	坪井川第3排水区 調整池 整備	調整池52,000m3	熊本市	■					148		-
	A07-008	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	-	新設	井芹川第8・10排水区 幹 線整備	ポンプ棟新設等	熊本市	■	■	■	■	■	150		-
	A07-009	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	-	新設	マンホールトイレシステ ム	225基	熊本市	■	■	■	■	■	330		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
	A07-010	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	ポンプ 場	改築	本山ポンプ場 地震対策	225㎡	熊本市		■	■			5		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
	A07-011	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	管渠（ 汚水）	改築	東部処理区 幹線・枝線 耐震化	耐震化	熊本市			■	■	■	80		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
	A07-012	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	管渠（ 合流）	改築	中部処理区 幹線・枝線 耐震化	耐震化	熊本市			■	■	■	200		策定済
		熊本市下水道総合地震対策計画																	
										小計						1,712			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,712		
									</										

C 効果促進事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	熊本市	直接	熊本市	-	新設	マンホールトイレシステム	災害時応急復旧資機材の整備	熊本市	■	■	■	■	■	29		策定済		
		基幹事業であるマンホールトイレシステムの建設と合わせて災害時応急復旧資機材を整備することにより震災時の早期応急対応を図る。																			
		熊本市下水道総合地震対策計画																			
												小計						29			
												合計						29			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
熊本市上下水道事業運営審議会による審議	令和6年11月～令和7年2月
	公表の方法
	市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【マンホールトイレの整備】 ・熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、熊本市地域防災計画で避難所と位置付けられている、市内の小・中学校および防災拠点のうち、下水道区域内にある小・中学校50校（5基/校）に対して、250基のマンホールトイレを設置した。 ・平成31年度から令和5年度までに、小・中学校50校の災害時における避難所としてのトイレ機能を確保した。 【下水道施設の耐震化】 ・熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設を対象として、15施設の耐震診断および5施設の耐震補強工事を実施した。 ・平成31年度から令和5年度までに、下水道施設7施設の耐震性能の確認と5施設の耐震性能が向上した。 【都市浸水対策】 ・平成31年度から令和5年度までに、浸水重点6地区のひとつである坪井川第3排水区（182.1ha）の対策（雨水調整池整備）を実施した。 ・R2.7豪雨（時間最大降雨54mm）において効果を発揮し、浸水被害の発生を防止するなど、当該排水区の浸水安全度が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

【マンホールトイレの整備】 ・熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、熊本市地域防災計画と整合を図りつつ、次期整備計画においても、一時避難所等への設置を進めていく。 【下水道施設の耐震化】 ・熊本市下水道総合地震対策計画に基づき、次期整備計画においても、計画的に施設の耐震対策や耐震性能の確認を実施していく。 【都市浸水対策】 ・引き続き加勢川第5排水区においては、地権者との用地交渉を進めており、事業実施に向けた交渉ができている。今後も浸水被害の解消のため事業を推進していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	マンホールトイレの整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	施設の耐震化率		
	最 終 目標値	35%	耐震診断による想定以上の耐震性能の確認と、計画どおり耐震化工事を実施できたため、目標値35.0%を上回る38.4%を達成できた。 目標値及び実績値は整数表示
	最 終 実績値	38%	
3	都市浸水対策達成率		
	最 終 目標値	55%	加勢川第5排水区の整備においては、対策に必要な用地交渉に時間を要し進捗に遅れが生じたため、目標値に届かなかったが、事業としては、他重点地区の対策を進めることができた。 目標値及び実績値は整数表示
	最 終 実績値	53%	